

持続可能な未来をつくる ボランティアスタンダードとは？

～未来を担う若者と考える

これからのまちづくりとボランティア～

パネルディスカッション

パネリスト：

植田 俊（東海大学国際文化学部講師）

都築 則彦（学生団体おりがみ代表）

井関 将人（ClimateYouthJapan/SUSPON Youth）

羽仁 カンタ（iPledge/SUSPON代表）

モデレーター：

草野 竹史(NPO ezorock代表)

本日の進め方(15:30-16:50)

キーワードトーク

グループトーク(意見交換)

→今日の話を聞いてどう思ったか？

→グループでパネラーや会場への質問を一つ決める

シェアリング

→グループからコメントをもらい、深める

パネラーから一言

「まちづくり」という
言葉の「まち」とは？

対等

「まちづくり」における
スポーツとボランティア
の可能性

バイトとボランティアを
同じように考え無い！

日本のボランティアを、
オリンピックで豊かに

ボランティアを通して開花する自身の
クリエイティビティ、そしてキャリア

D.I.Yの本質
～1945年終戦後のロンドンにて

メガ・スポーツイベントと「まち」

ボランティアの気持ち
(自主性、自発性)を大事に、
または、蔑ろにしない！

ボランティア
という言葉の違和感

「まち」をつくる主役（主体）とは？

- どういうボランティアしているのか？
- ボランティアで解決したいことは？
- →博物館を見せられるように、変えていきたい

- 「いまやっていることは
- 仕事ですか？ボランティアですか？」

ボランティア活動ってやったことない！？

サークル活動？

ボランティアやっている人に対して「すごいですね」と言ってしまう

ezorockの運営方法、チームマネジメントどうやっているのか？

ボランティアを継続していくうえで、
新しい層を取り入れたり、
ボランティアしたことがない人へのハードルを下げるためには？

- 社会をつくっていくということだった

私がやっていることは、ボランティアと思ったことはない
仕事だ使命だ
労働の対価があってしかるべき

メガスポーツイベント
無償の単純労働も必要な場合
バイトを仕切るときは、気持ちはどう処理していけたら

- 継続性が重要
- 一時的ではないことが大事。
- 高校生がどうやって継続的にかかわっていけたらいいのか？

- 見えない価値があると思いますが、
- どう発信しているのか？

- 楽しいから、おいでよ。ボランティアという枠組みで考えない
- ボランティア＝楽しい
- 楽しく、対等、社会をよくしたい
- 自分がどうしたい、どう生きるのか？
- 報酬とはお金だけなのか？お金以外の意味的な報酬
- 自分に合ったボランティア活動
- 現場で確認したくなる。